

## 2017年3月期 第3四半期 決算説明動画 説明概要

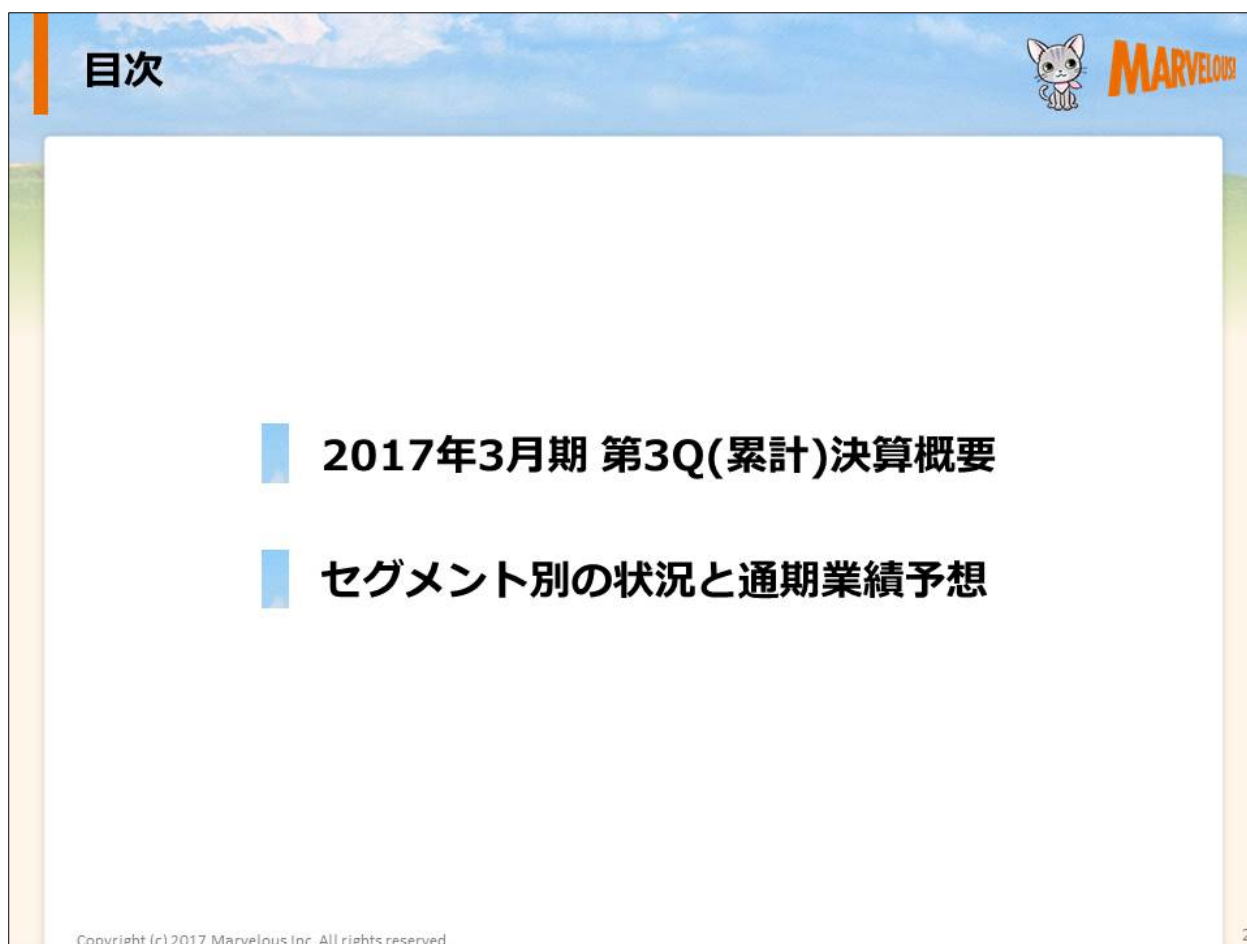
皆様こんにちは。

代表取締役の 中山晴喜でございます。

2017年3月期 第3四半期の決算につきましてWEB 配信によりご説明させていただきます。

所要時間は12分程度でございますので、最後までよろしくお願い申し上げます。

### 資料\_P.2\_目次




こちらが、本日も説明させていただく、資料の内容です。

はじめに、第3四半期の決算概要について、次に、セグメント別の状況と通期業績予想について、ご説明させていただきます。

それではまず、第3四半期の決算概要についてご説明させていただきます。

#### 資料\_P.4\_業績ハイライト

### 業績ハイライト（損益計算書）



- オンライン事業の売上減少等により、前年同期比で減収、営業利益減となるも、効率的な広告宣伝費投下で利益率は向上
- 為替差益の計上、特別損益の改善で最終利益は前年同期比増

(単位：百万円)

	2016年3月期 第3Q累計		2017年3月期 第3Q累計		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	(額)	(率)
売上高	24,229	-	21,636	-	▲ 2,592	89.3%
売上原価	9,548	-	9,578	-	29	100.3%
販管費	10,708	-	8,236	-	▲ 2,471	76.9%
うち広告宣伝費	2,536	-	1,650	-	▲ 886	65.0%
営業利益	3,972	16.4%	3,821	17.7%	▲ 150	96.2%
営業外損益	▲ 31	-	95	-	126	-
経常利益	3,940	16.3%	3,917	18.1%	▲ 23	99.4%
特別損益	▲ 54	-	22	-	77	-
法人税等	1,195	-	1,119	-	▲ 75	93.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,690	11.1%	2,820	13.0%	129	104.8%

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved. 4

まずは、業績ハイライトです。

売上高は、前年同期比 89.3% の 216 億 3,600 万円、営業利益は、同 96.2% の 38 億 2,100 万円となりました。オンライン事業の売上減少等により減収となりましたが、効率的な広告宣伝費の投下等により利益率は向上いたしました。

営業外損益では、上半期までの円高基調から一転し、急激に円安に振れたため、為替差益を計上しております。

また、前期にあった特別損失が当期にはないことから、最終利益ベースでは、前年同期の数値を上回りました。



続いてこちらが、セグメント別の実績です。

オンライン事業は、売上高が前年同期比 74.6%の 114 億 5,500 万円、セグメント利益は、同 73.9%の 24 億 8,900 万円となりました。

主力タイトルは持ち直しつつありますが、前年対比では売上が減少していることに加え、新規タイトルが貢献できず、減収減益となりました。

コンシューマ事業は、売上高が前年同期比 109.8%の 64 億 9,800 万円、セグメント利益は、同 183.3%の 11 億 9,700 万円となりました。

新作ゲームソフトのヒット等により、増収増益となりました。

音楽映像事業は、売上高が前年同期比 125.2%の 37 億 900 万円、セグメント利益は、同 124.2%の 9 億 9,000 万円となりました。

定番シリーズの安定した実績に、新規コンテンツのヒットが加わり、増収増益となりました。

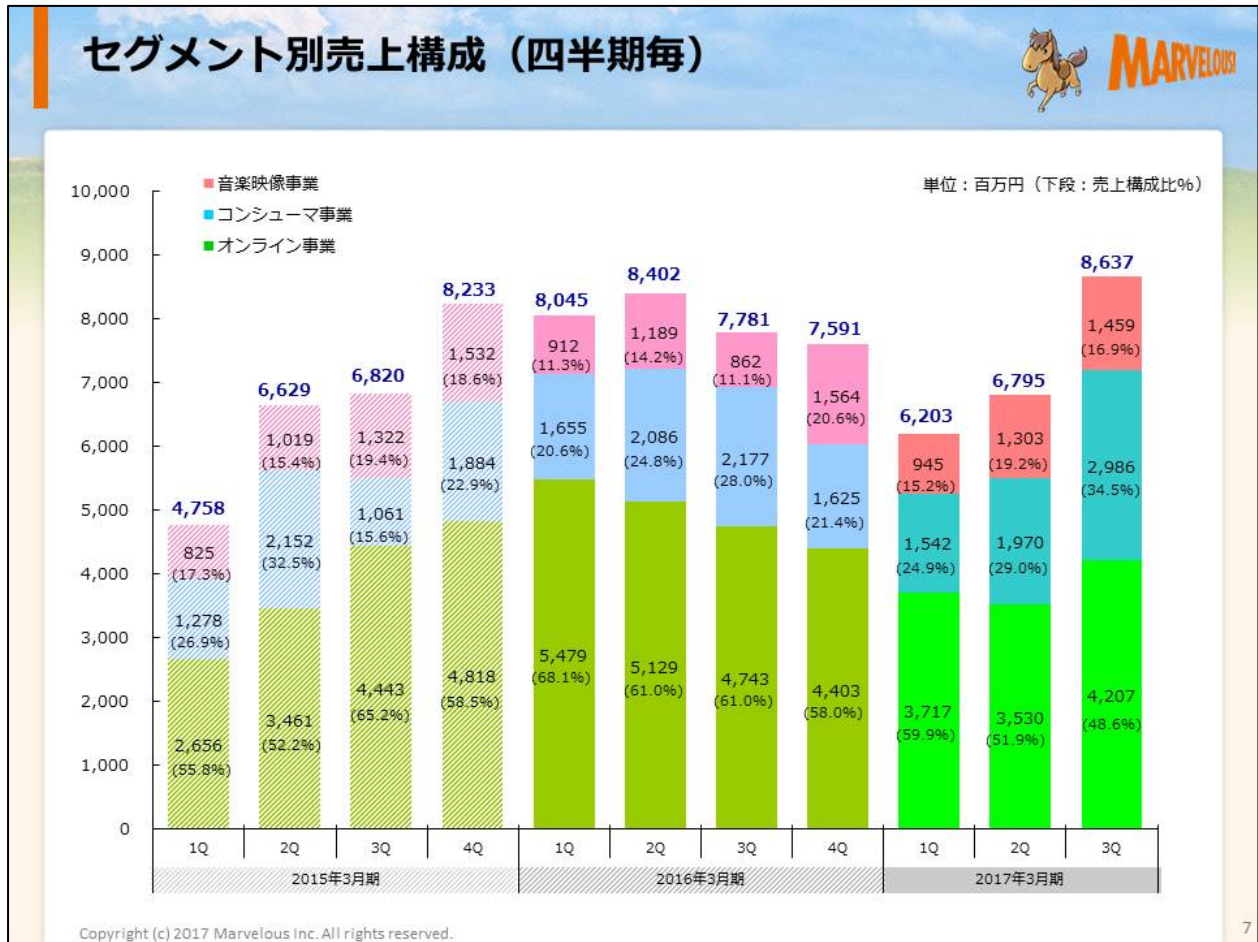
資料 P.6 売上高・営業利益の推移(四半期毎グラフ)



こちらは、四半期ごとの、売上高・営業利益の推移です。

ヒット作にも恵まれ、四半期ベースでは、過去最高の売上高、営業利益を達成することができました。

資料\_P.7\_セグメント別売上構成(四半期毎グラフ)



こちらは、四半期ごとの、各セグメントの売上推移です。

第3四半期は、各セグメントが、総じて好調に推移いたしました。

## 資料\_P.8\_貸借対照表(要約)

MARVELOUS!

### 貸借対照表 (要約)

- 売上高の増加に伴い流動資産及び流動負債が増加
- アミューズメント新型筐体及び新作コンテンツへの投資に伴い固定資産が増加
- 順調な利益計上により純資産が増加

(単位：百万円)

	2016年3月末	2016年12月末	増減額
流動資産 計	16,204	17,252	1,047
固定資産 計	4,165	5,228	1,062
<b>資産合計</b>	<b>20,370</b>	<b>22,480</b>	<b>2,110</b>
流動負債 計	6,421	7,194	773
固定負債 計	27	62	34
<b>負債合計</b>	<b>6,448</b>	<b>7,256</b>	<b>807</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,921</b>	<b>15,223</b>	<b>1,302</b>

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved. 8

続いてこちらは、貸借対照表の要約になります。

売上高の増加に伴い、売掛金等、流動資産や流動負債が増加いたしました。

固定資産の増加は、アミューズメントの新作筐体や、新作ゲームコンテンツへの投資によるものです。

また、順調な利益計上により純資産も増加いたしました。

それでは続いて、セグメント別の状況についてご説明させていただきます。

#### 資料\_P.10\_オンライン事業\_3Qまでの進捗状況

オンライン事業
2017年3月期3Qまでの進捗状況

剣と魔法のログレス いにしへの女神

(ネイティブアプリ)



©Marvelous Inc./Aiming Inc.

- 人気IPとの継続的なコラボレーションの実施によりユーザー拡大に注力
- 12月に3周年を迎え、記念イベント（11/16～12/28開催）が好調に推移
- 中国におけるサービス終了を決定

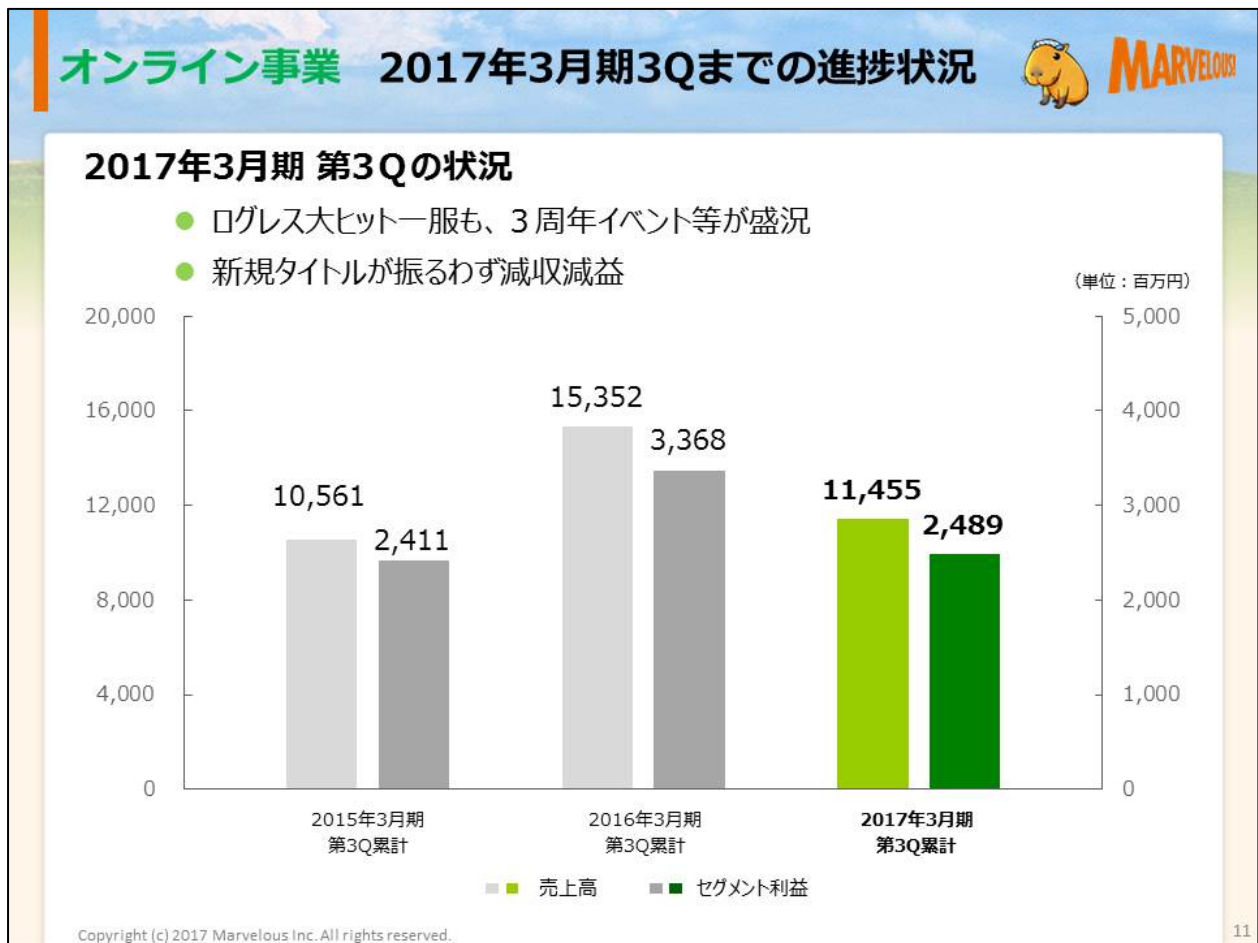
Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved.
10

まずは、オンライン事業についてご説明いたします。

主力の「剣と魔法のログレス いにしへの女神」につきましては、有力IPとのコラボレーションを期初より継続的に実施し、ユーザーの拡大及び活性化に努めてまいりました。

それらの効果もあいまって、11月から12月にかけて実施した3周年記念イベントは、大変好調に推移いたしました。

一方で中国展開につきましては、思うような成果が上げられず、サービスの終了を決定いたしました。



こちらがオンライン事業の過年度推移のグラフとなります。

「剣と魔法のログレス いにしえの女神」は、前期の大ヒットに比べれば一服しておりますが、3周年イベントは好調に推移いたしました。

一方で、新規タイトルを収益に貢献させることができず、減収減益となっております。



## オンライン事業 2017年3月期 4Q以降の取り組み

- 「剣と魔法のログレス いにしへの女神」の好調維持に注力
- 来期に向けて新規タイトルを鋭意開発

DMM GAMESとの共同開発・運営

**MARVELOUS × DMM GAMES**

PCブラウザ向け新作ゲーム  
**天歌統一ふるじえくと**

2017年2月  
配信予定

©Marvelous Inc. / ©DMM GAMES

3社共同企画「戦ブラ」プロジェクト

**イデオファクトリー × MARVELOUS × KADOKAWA**

スマートフォン向けゲームアプリ  
**戦刻ナイトブラッド**

2017年(来期)  
配信予定

©Marvelous Inc. / KADOKAWA / IDEA FACTORY

大型共同プロジェクト

**MARVELOUS × FUJIGAMES × Toshi(X JAPAN)氏**

スマートフォン向け協業タイトル  
**プロジェクト クロノス**

2017年夏  
配信予定

©Marvelous Inc. / Fuj Games, Inc.

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved. 12

続いて、オンライン事業の今後の取り組みですが、引き続き「剣と魔法のログレス いにしへの女神」の好調維持に注力するとともに、既存の各タイトルとも運営強化に努めてまいります。

また、引き続き来期に向けて新規タイトルの開発、ラインナップの強化に努めてまいります。

コンシューマ事業 2017年3月期3Qまでの進捗状況  MARVELOUS!

シリーズ3年ぶりの新作  
**Fate/EXTELLA (フェイト/エクステラ)**  
 (PS4/PS Vita)



2016年  
11月10日  
発売

- 大ヒット御礼、出荷本数22万本を突破※DL販売含む

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved. 13

続いて、コンシューマ事業の状況について、ご説明させていただきます。

直近のトピックといたしましては、11月10日に発売した「Fate/EXTELLA(フェイト/エクステラ)」が、PlayStation®4、PlayStation®Vitaを合わせて、出荷本数22万本を超えるヒットとなりました。こちらは、シリーズ3年ぶりの新作となりますが、IPの人気の高まりもあり、前作実績から倍増となる、大ヒットとなっております。

資料\_P.14\_コンシューマ事業\_3Qまでの進捗状況(3ヵ年グラフ)



こちらがコンシューマ事業の過年度推移のグラフとなります。

6月に発売した「牧場物語」の新作、先程の「フェイト」のヒットに加え、アミューズメントの新作2タイトルの稼動開始もあり、増収増益となっております。

## コンシューマ事業 2017年3月期 4Q以降の取り組み

- 国内外において主力シリーズの新作タイトル投入
- アミューズメントマシンは各種イベント・キャンペーン強化

主力シリーズ最新作  
**閃乱カグラ  
PEACH BEACH SPLASH**  
(PS4)

日本  
2017年  
3月16日  
発売



©2017 Marvelous Inc.

**Fate/EXTELLA:  
The Umbral Star**  
(日本名称: Fate/EXTELLA(フェイト/エクステラ))  
(PS4/PS vita)

北米  
2017年  
1月17日  
発売



欧州  
2017年  
1月20日  
発売

©TYPE-MOON ©2016 Marvelous Inc. Licensed to and published by XSEED Games / Marvelous USA, Inc. All Rights Reserved.

**STORY OF SEASONS:  
Trio of Towns**  
(日本名称: 牧場物語 3つの里の大切な友だち)  
(3DS)



北米  
2017年  
2月28日  
発売予定

©2017 Marvelous Inc. All Rights Reserved. Licensed to and published by XSEED Games / Marvelous USA, Inc.

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved.

続いて、コンシューマ事業の今後の取り組みについて、ご説明させていただきます。

国内のゲームソフト販売におきましては、こちらも当社の主力シリーズである「閃乱カグラ」の最新作、「閃乱カグラ PEACH BEACH SPLASH」を3月16日に発売いたします。

海外におきましては、先程申し上げました「フェイト」の海外版を1月17日より北米向けに、1月20日より欧州向けに発売したほか、「牧場物語」の海外版、「STORY OF SEASONS: Trio of Towns」を2月28日より北米向けに発売いたします。

また、アミューズメントにつきましても、各タイトルにおいて、イベントやコラボレーション、広告宣伝等を強化してまいります。

## 音楽映像事業

### 2017年3月期3Qまでの進捗状況

- 新作舞台、同BD/DVDが好業績を牽引
- 新作アニメ放送も大ヒット

**舞台『刀剣乱舞』  
虚伝 燃ゆる本能寺**



2016年  
5月公演

**TVアニメ  
『刀剣乱舞-花丸-』**



2016年  
10月～12月  
放送

**『あんさんぶるスターズ！  
オン・ステージ』**



2016年  
6月公演

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved. 16

続いて、音楽映像事業の状況についてご説明させていただきます。

こちらにございます、「舞台『刀剣乱舞』虚伝 燃ゆる本能寺」、TV アニメ『刀剣乱舞-花丸-』、『あんさんぶるスターズ！ オン・ステージ』といった新作コンテンツがいずれも大ヒットとなり、当事業の好業績を牽引いたしました。

また、定番シリーズもそれぞれ好調に推移いたしました。

資料\_P.17\_音楽映像事業\_3Qまでの進捗状況(3ヵ年グラフ)



こちらが音楽映像事業の過年度推移のグラフとなります。

今期は、特に新作のヒットが業績に寄与し、増収増益で推移しております。

**音楽映像事業 2017年3月期 4Q以降の取り組み**

- 大ヒット舞台の再演・続編公演、定番シリーズの最新作公演
- 劇場版遊☆戯☆王BD/DVD発売
- 「プリキュア」シリーズは最新作を2月5日より放送開始

**舞台『刀剣乱舞』  
虚伝 燃ゆる本能寺**



2016年  
12月再演

© 2016 Happy Elements K.K./宝島プロダクション

**『あんさんぶるスターズ！ オン・ステージ』  
～Take your marks!～**



2017年  
1月公演

© 2016 Happy Elements K.K./宝島プロダクション

**舞台『弱虫ペダル』  
新インターハイ篇  
～スタートライン～**



2017年  
2月～3月  
公演

© 2017 Yowamushi Pedal Production Committee

**劇場版『遊☆戯☆王 THE DARK  
SIDE OF DIMENSIONS』**



2017年3月  
BD/DVD  
発売

© 2017 Konami

**キラキラ☆プリキュアアラモード**



2017年  
2月TV  
放送開始

© 2017 Toei Animation

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved.

続いて、音楽映像事業の今後の取り組みについてご説明させていただきます。

ステージ制作部門におきましては、先程、大ヒット公演とお伝えいたしました、「舞台『刀剣乱舞』虚伝 燃ゆる本能寺」の再演を12月15日から1月17日にかけて実施いたしました。

また、同じく大ヒット公演の新作「『あんさんぶるスターズ！ オン・ステージ』～Take your marks!～」を、1月5日から1月29日にかけて公演いたしました。

どちらの公演も、前回から大幅に公演規模を拡大のうえ実施いたしました。両公演とも大好評で満員御礼となりました。

また、2月から3月にかけては、定番シリーズの新作「舞台『弱虫ペダル』新インターハイ篇～スタートライン～」の公演も控えております。

音楽映像部門におきましては、4月より公開されてヒットした劇場版『遊☆戯☆王 THE DARK SIDE OF DIMENSIONS』のブルーレイ・DVDを3月8日に発売いたします。

また、「プリキュア」シリーズは、2月5日より、新シリーズ「キラキラ☆プリキュアアラモード」が放送開始予定となっております。

以上が、各セグメントの概況となります。

これらを踏まえ、最後に、通期の業績予想についてご説明させていただきます。

資料\_P.19\_2017年3月期\_業績予想

## 2017年3月期 業績予想



- 業績予想は当初予想を継続
- ポートフォリオ経営の総合力で通期目標達成を目指す

	2016年3月期		2017年3月期		前期比	
	実績	利益率	予想	利益率	(額)	(率)
売上高	31,820	—	34,000	—	2,179	106.9%
営業利益	5,418	17.0%	6,000	17.6%	581	110.7%
経常利益	5,228	16.4%	5,850	17.2%	621	111.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,602	11.3%	4,150	12.2%	547	115.2%

Copyright (c) 2017 Marvelous Inc. All rights reserved. 19

通期の業績予想につきましては、こちらの通り、当初の予想を据え置いております。

第3四半期におきましては、過去最高の売上高、営業利益を達成することができ、進捗率も大きく挽回することができました。第4四半期も、通期目標の達成に向けて、各事業の総合力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、決算説明を終了させていただきます。

最後までご視聴いただきまして、誠にありがとうございます。

以上